

学生に対する経済的支援の全体像（大学院修士課程） *（ ）は全学生に占める対象者の割合

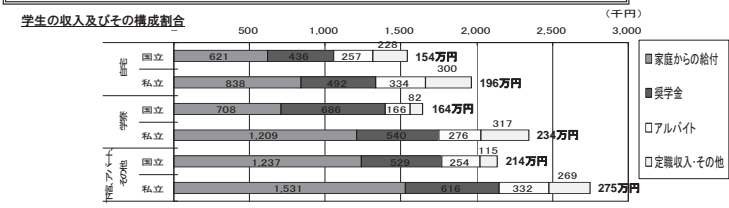
大学院修士課程		学生数: 16.5万人	
奨学金	<p>(注) 日本学生支援機構奨学金 貸与総人数: 7.1万人 (42.8%) / 貸与総額: 750億円 (H19実績)</p> <p>●無利子奨学金事業: 4.9万人 (29.3%) / 貸与総額: 507億円</p> <p>【人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立大学: 3.2万人 (32.6%) / 貸与総額: 332億円 私立大学: 1.7万人 (24.6%) / 貸与総額: 175億円 <p>●有利子奨学金事業: 2.2万人 (13.3%) / 貸与総額: 243億円</p> <p>【人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立大学: 1.4万人 (14.7%) / 貸与総額: 146億円 私立大学: 0.8万人 (11.2%) / 貸与総額: 97億円 <p>●京畿圏若者返還免除(H19実績) 0.7万人/93億円</p>	<p>1人当たり月額: 8.9万円</p> <p>1人当たり月額: 8.8万円</p> <p>1人当たり月額: 9.2万円</p> <p>1人当たり月額: 8.8万円</p> <p>1人当たり月額: 9.2万円</p> <p>1人当たり月額: 10.6万円</p>	
	給与	<p>●ティーチング・アシスタント(TA) 全体数: 6.8万人 (34.9%) (H18実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立大学: 3.5万人 (37.6%) 私立大学: 2.1万人 (33.7%) 	<p>1人当たり月額: 4.3万円 (平成15年度国立学校特別助成)</p>
	授業料減免等	<p>授業料減免 ●国立大学 1.8万人 (18.9%) (実人数) / 60億円 (H19実績)</p> <p>【参考: 延べ人数】 3.0万人 ※前期・後期それぞれを合わせた人数。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全額免除: 1.0万人 / 26億円 半額免除等: 2.0万人 / 34億円 <p>授業料減免 ●私立大学 0.07万人 (1.0%) (延べ人数) / 2億円 (H20実績) ●国は定額の事業費の1/2以内を補助(0.7億円)</p> <p>【事業別内訳】(延べ人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 奨励奨励金: 0.01万人 給付制奨学金: 0.05万人 教育ローン利子給付: 0.01万人 	<p>1人当たり月額</p> <ul style="list-style-type: none"> 全額免除の場合: 4.5万円 (年額: 53.6万円) 半額免除の場合: 2.2万円 (年額: 26.8万円) <p>1人当たり月額: 2.4万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業料減免の場合: 2.8万円 (年額: 34万円) 給付制奨学金の場合: 2.6万円 (年額: 31.2万円) 教育ローンの利子補給: 0.3万円 (年額: 3.5万円) <p>* ●私立大学の数値は全てH20実績からの推計</p>

【参考】 修士全体延べ数: 15.5万人

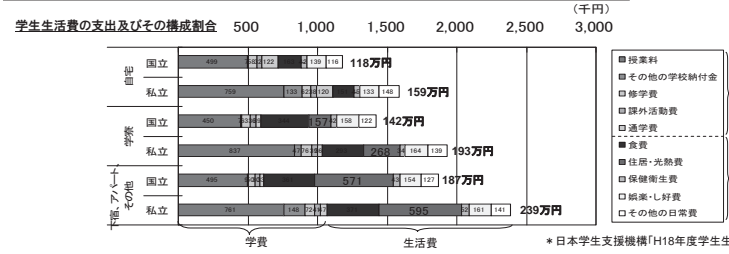
民間団体等(公益法人・学校等)奨学金(平成18年度奨学金)に関する調査結果	1人当たり 月額 4.2万円
●大学院 1.1万人 / 56億円 (貸与: 11.6%) (給与: 49.0%) (給与・貸与: 39.4%)	

学生生活の収入・支出状況（大学院修士課程）

収入：下宿等の年額の奨学金は国立52.9万円、私立61.6万円



支出：下宿等の年額の学費は国立61.6万円、私立107.0万円

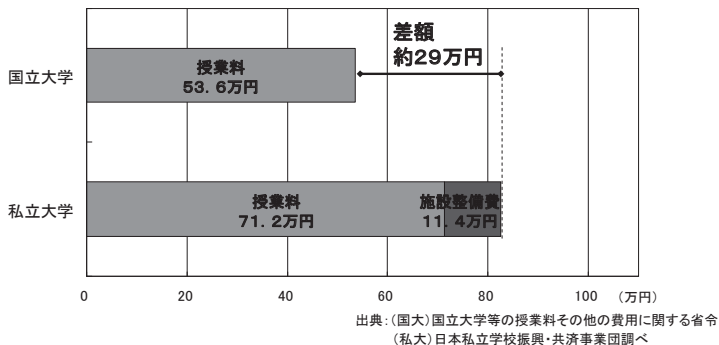


* 日本学生支援機構「H18年度学生生活調査」より作成

国立大学と私立大学の授業料等(大学院修士課程)

国立大学と私立大学の授業料等の学費の差額は約29万円。

■国立大学と私立大学における学生一人あたりの授業料額(平成19年度)



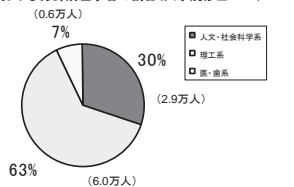
■国立大学と私立大学の修士課程学生数(平成19年度:学校基本調査)

大学種別	学生数
国立大学	94,956人
私立大学	60,751人

大学院修士課程の分野別の在学者数と学費(国立、私立)

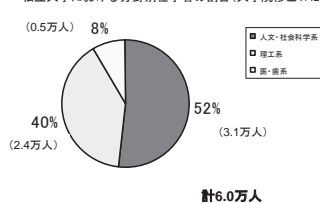
大学院修士課程において私立大学には国立大学の約9割の学生が在籍。そのうち、理工系の在籍者の割合を見ると、国立大学の人数(6万人)、割合(63%)と比べ、私立大学における人数(2.4万人:国立の約4割)、割合(40%)が小さい。

国立大学における分野別在学者の割合(大学院修士:H20)

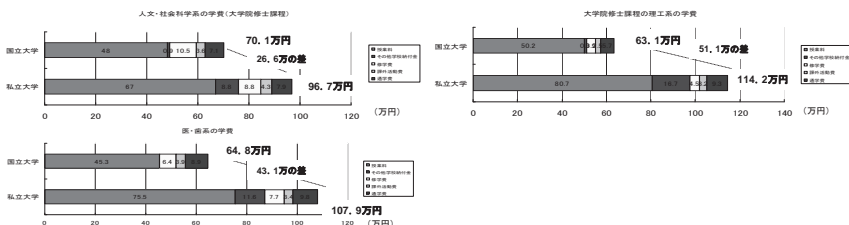


*平成20年度「学校基本調査」より作成

私立大学における分野別在学者の割合(大学院修士:H20)



分野別の学費(国私比較)

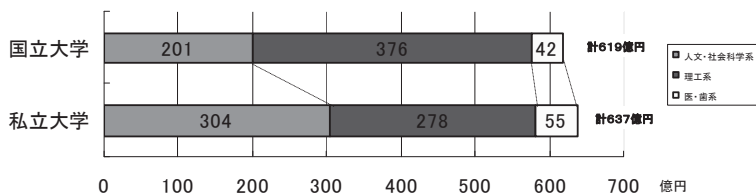


*日本学生支援機構「H18年度学生生活調査」より作成

大学院修士課程の分野別の全学費(国私比較)

全修士課程生が負担する学費を比較すると、私立大学の全学費は国立大学の約1.03倍。分野別で比較すると人文・社会科学系は約1.5倍、理工は0.7倍、医・歯系は1.3倍。

分野別の全学費(大学院修士課程)



* 日本学生支援機構「H18年度学生生活調査」及び
文部科学省「H20年度学校基本調査」より推計

大学院修士課程の授業料減免(国立、私立)

国立大学で18.9%の学生が授業料減免の対象。
私立大学では延べ人数でも1%の学生が授業料減免の対象。

■ 国立大学の授業料免除等について(文部科学省調べ)

国は経済的理由により、授業料等の納付が困難な者に対する授業料減免措置制度を設け、運営費交付金の算定において考慮。

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
のべ人数	2万6千人	2万8千人	3万人
実人数	—	1万7千人(17.9%)	1万8千人(18.9%)
免除実施額	55億円	57億円	60億円
学校数	86校	86校	85校

(注)1. 実人数は平成18年度から調査を実施。2. のべ人数は、前期、後期それぞれの免除者数の合計。
3. 学校数は、平成19年度に減じたのは大学の統合によるもの。

■ 私立大学の授業料免除等について(私立大学等経常費補助金交付実績)

平成18年度より、私立大学等において、経済的に修学困難な学生を対象に実施している授業料減免事業等へ支援。

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
のべ人数	—	0.06万人(1%)	0.06万人(1%)	0.07万人(1%)
免除実施額 (補助金額)	—	1.6億円 (0.6億円)	1.8億円 (0.6億円)	2.0億円 (0.7億円)
学校数	—	—	—	—

(注)1. 私立大学の数値は国の補助による数値のみ計上しており、大学独自のものは除く。2. のべ人数は、国庫補助を活用した授業料減免及び独自の奨学金等の対象者の合計。4. 国は事業費の1/2以内を補助。

ティーチング・アシスタント(TA)の支援状況(内訳:大学院修士課程)

■ TA採用学生数の割合(平成18年度実績)(単位:人)

	国立	公立	私立	合計
修士課程	37.5%	15.7%	33.7%	34.9%
(TA数/全在籍者数)	(35,464/94,482)	(1,486/9,482)	(20,770/61,561)	(57,720/165,525)

出典：平成19年度大学院活動状況調査（平成20年12月）

学生に対する経済的支援の全体像（大学院博士課程） *（ ）は全学生に占める対象者の割合

		大学院博士課程	学生数: 7.4万人 (国立) 専攻数: 4.2万人 (公立) 専攻数: 0.4万人 (私立) 専攻数: 1.8万人
奨学金	(独)日本学生支援機構奨学金	貸与総人数: 1.6万人(29.7%) / 貸与総額: 218億円 (H19年実績)	1人当たり月額: 11.7万円
	●有利子奨学金専業	1.4万人(27.4%) / 貸与総額: 203億円 【人数】 ・国立大学: 1.1万人(28.8%) / 貸与総額: 156億円 ・私立大学: 0.3万人(23.7%) / 貸与総額: 47億円	1人当たり月額: 12.2万円 【単価】 ・国立大学共通 8万、又は12.2万円から選択 【人数】 ・国立大学: 12.2万円 ・私立大学: 12.2万円
	●有利子奨学金専業	0.1万人(2.3%) / 貸与総額: 15億円 【人数】 ・国立大学: 0.06万人(2.1%) / 貸与総額: 10億円 ・私立大学: 0.04万人(2.9%) / 貸与総額: 5億円	1人当たり月額: 10.3万円 【単価】 ・国立大学共通 5.8,10,13,15万円から選択 【人数】 ・国立大学: 10.4万円 ・私立大学: 10.1万円
	●常備優遇者選定免除(H18実績)	0.2万人/46億円	1人当たり269万円
給与	●ティーチング・アシスタント(TA)	全体数: 1.6万人(21.8%) (H18実績) ・国立大学: 1.2万人(23.2%) ・私立大学: 0.3万人(18.4%)	1人当たり月額: 4.3万円(平成18年度国立大学特別助成金)
	●リサーチ・アシスタント(RA)	全体数: 3.9万人(51.2%) (H18実績) ・国立大学: 3.0万人(67.9%) ・私立大学: 0.7万人(36.3%)	1人当たり月額: 5万未満62.8%、15万以上20.3% (参考:平成18年度704-A/ACOE採択国公立平均値10.3万円)
	●フellowシップ(日本学術振興会特別研究員奨励費(D))	対象人数0.6万人(8.2%) / 110億円(H21予定額)	1人当たり月額20万円
授業料減免等	授業料減免	1.5万人(29.3%) (実人数) / 55億円(H19実績) ●国立大学: 1.25万人 / 45億円 【参考: 延べ人数】 2.5万人 ※前掲:後掲それぞれをあわせた人数。 ・全額免除: 0.7万人 / 17億円 ・半額免除: 1.8万人 / 38億円	1人当たり月額 ・全額免除の場合: 4.5万円(年額: 53.6万円) ・半額免除の場合: 2.2万円(年額: 26.8万円)
	授業料減免	●私立大学 0.02万人(1.0%) (延べ人数) / 0.6億円(H20実績) * 国は定額の専攻費の1/2以内を補助(0.2億円) 【事業別内訳】(延べ人数) ・授業料減免: 0.003万人 ・給付奨学金: 0.01万人 ・教育ローン利子給付: 0.02万人	* 私立大学の数値は全てH20実績からの推計 1人当たり月額2.4万円 ・授業料減免の場合: 2.8万円(年額: 34万円) ・給付奨学金の場合: 2.6万円(年額: 31.2万円) ・教育ローンの利子補助: 0.3万円(年額: 3.5万円)
【参考】	博士全体延べ数: 9.2万人		
民間団体	民間団体等(公益法人・学校等)奨学金(平成18年度専攻数に対する奨励調査) ●大学側 1.1万人/56億円 (貸与: 11.6%) (給与: 49.0%) (給与・貸与: 39.4%)	1人当たり 月額 4.2万円	